

# 家計にたとえると…

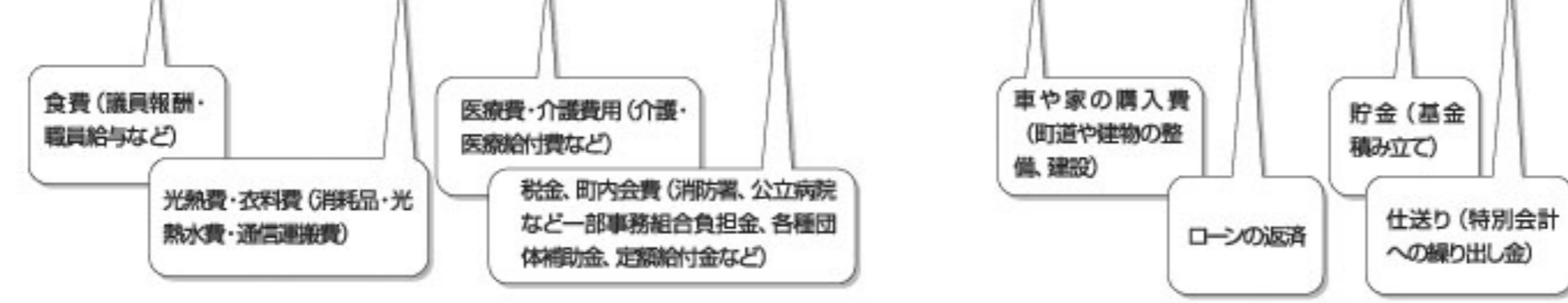
**歳入**  
45億6,505万円  
前年度(平成20年度)  
40億9,378万円

**歳出**  
43億6,107万円  
前年度(平成20年度)  
39億8,835万円

**次年度繰越金**  
歳入 45億6,505万円  
歳出 43億6,107万円  
**1億1,104万円**  
歳入-歳出=2億398万円のうち繰越事業の費用9,294万円を除いた額

◇年収 43.5%		◇親からの仕送り 49.3%			◇ローン	
自分たちで賄えるお金		全国どこに住ん らす事ができる	でいても同じように暮 ようにするためのお金	国や県から目的に対して 補助されたお金		銀行や国から借り入れたお金
<b>町税</b> 16億395万円 35.1%	<b>使用料 繰越金等</b> 3億8,420万円 8.4%	<b>地方交付税</b> 10億5007万円 23.0%	<b>地方譲与税 各種交付金</b> 3億339万円 6.7%	<b>国補助金</b> 6億7,168万円 14.7%	<b>県補助金</b> 2億2,584万円 4.9%	<b>町債</b> 3億2,530万円 7.1%

<b>人件費</b> 8億2,722万 19.0%	<b>物件費等</b> 5億2,978万円 12.1%	<b>扶助費</b> 2億9,864万円 6.8%	<b>補助費等</b> 9億2,799万円 21.3%	<b>普通建設 事業費</b> 5億4,521万円 12.5%	<b>公債費</b> 6億8,496万円 15.7%	<b>積立金等</b> 1億3,963万円 3.2%	<b>繰出金</b> 4億761万円 9.3%
---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------



平成21年度決算が鏡石町議会9月定例会で承認されました。

今月号では、町がどのようなお金をどのように使ったのかを、皆さんのご家庭の家計簿と同じような見方で、町の現状と課題をお知らせします。

日本経済が、依然として高い失業率で推移し、物価についてもデフレ傾向にあり、厳しさを増す中、町の財政状況も厳しい状況が続いています。このような状況下で町では、各種施策の優先順位に基づいて徹底した事業選択を行い、財源の計画的、重点的な配分に努めました。

一般会計の決算額は歳入45億6,505万円(前年比11.5%増)、歳出43億6,107万円(前年比9.3%増)となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質

収支額は1億1,104万円の黒字決算となりました。

また、平成21年度の普通会計の起債償還額は6億9,833万円(対前年3.4%減)となり、平成21年度末の起債残高は54億9,632万円(対前年2億3,762万円減)となりました。償還額、残高ともに今後も引き続き減少していくものの、この起債に対する償還が今後も財政を圧迫し続けることは避けられず、さらに計画的な財政運営を迫られています。

は、広域消防組合(消防署や救急隊の運営にかかる費用)への負担金、認定保育園としての私立保育所運営費補助金などがあります。また、平成21年度は国の緊急経済対策による定額給付金事業があり、前年比で約1,200万円の減、公債費についても約2,500万円の減となりました。

なお、平成22年度鏡石町財政公表を町ホームページに掲載しましたのであわせてご覧下さい。

## 各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	456,505	436,107
国民健康保険特別会計	129,459	125,468
老人保健特別会計	2,382	2,381
後期高齢者医療特別会計	8,339	8,309
介護保険特別会計	62,854	61,597
土地取得事業特別会計	304	302
工業団地事業特別会計	12,410	12,276
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	8,394	8,369
育英資金貸付費特別会計	1,112	1,030
公共下水道事業特別会計	58,447	57,455
農業集落排水事業特別会計	7,318	6,560
小計	747,524	719,854
上水道会計	収益的	22,181
	資本的	1,965
	計	24,146
合計	771,670	753,953

## 鏡石町の健全化判断比率等の公表

**実質赤字比率** 15.0% (早期健全化基準15.0%)  
**実質公債費比率** 20.7% (早期健全化基準25.0%)  
**連結実質赤字比率** 20.0% (早期健全化基準20.0%)

一般会計などの赤字の程度を指標化し財政運営の深刻度を示すのがこの数値です。一般会計等の実質収支が黒字でしたので、実質赤字比率は該当ありません。

町では、前年に比べ0.8ポイント改善され、早期健全化基準を下回っています。18%以上であるため、地方債を発行するために県知事の許可が必要となります。今後も借入額の抑制などにより、引き続き財政の健全化を強く進めていきます。

**将来負担比率** 139.4% (早期健全化基準350.0%)

町の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す数値です。

平成21年度末における数値は7.1ポイント改善しており、早期健全化基準を下回っています。

以上の通り、平成21年度決算に基づき算定された町の健全化判断比率は全ての指標が基準を下回る結果となりました。

## お詫びと訂正

広報かがみいし10月号3ページの決算の記事で、町の実質公債費比率を「17.2%」とお知らせしましたが、正しくは「20.7%」となります。

お詫びして訂正いたします。